

# 平成 28 年度事業活動の概要報告

当財団の平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成 29 年 6 月 9 日に開催された理事会及び 6 月 29 日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されました。

ステークホルダーの皆様方に当財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上でも、(1) 学術交流促進・学術成果公開助成事業（学術交流の促進と学術成果の公開に係る助成事業）、(2) 教育の充実・学術基盤整備助成事業（教育の充実と学術基盤整備に係る助成事業）、(3) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という当財団が行う主要な事業別にその概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せて、ご報告させていただきます。

平成 28 年度では、学術交流の促進と学術成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施するとともに、平成 27 年度に新設した科学研究費獲得を推進するための「研究プロジェクト支援」の助成事業において 3 件を助成した結果、1 件が平成 29 年度科学研究費（基盤 A）に採択されたことをご報告させていただきます。

当財団の創立 50 周年記念事業として平成 20 年度に 10 年の期間限定で創設した「社会科学特別奨励賞（凌霜賞）」は、10 年間で 315 名が表彰され、「学部相互履修科目開講支援」については単位修得者数（28 年度現在）3,655 名に上り、助成事業としての教育の充実に大きな成果を上げたものと考えます。平成 30 年度もその内容を一部見直して実施することにしております。

今後とも、本財団に対して、従前と同様のご協力とご支援を賜わることをお願い申し上げます。

以 上

## 事業報告の概要

(金額は千円未満四捨五入)

### 1 学術交流促進・学術成果公開助成事業 19,771千円

#### 1 - 1 学術交流の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18,441千円

##### (1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への支援）・・・・ 16,826千円

###### ○経済学研究科 (3,240千円)

- ・羽森茂之教授（平成28年8月～平成28年9月、ドイツ）

目的：資産市場の相互依存関係に関する計量分析

- ・石川雅紀教授（平成28年4月、イギリス）

（平成29年2月～平成29年3月、オーストリア）

目的：拡大生産者責任制度に関する研究

- ・宮崎智視准教授（平成29年1月～平成29年3月、米国）

目的：景気刺激策としての公共投資と政治過程の関係についての日米比較

- ・地主敏樹教授他2名（平成28年6月、韓国）

目的：漢陽大学校経済金融大学・経済研究所

神戸大学大学院経済学研究科・経済経営研究所

南洋理工大学経済学部 第4回共同研究発表会"

###### ○経営学研究科 (4,852千円)

- ・中村絵理准教授（平成28年12月、イギリス）

目的：鉄道事業系持株会社におけるグループ内コミュニケーションが子会社

ガバナンスに果たす役割についてのケーススタディ

- ・内田浩史教授（平成28年6月、米国）

目的：5th MoFiR Workshop on Banking 学会発表

- ・高田知実准教授（平成28年9月、インドネシア）

目的：東南アジアの金融恐慌下におけるコーポレート・バナンスの機能に関

する実証分析

- ・馬 岩准教授（平成28年9月、フィンランド、イタリア）

目的：“Supermodularity, Comparative advantage, and Global Supply

Chains”

- ・各務和彦准教授（平成29年3月～平成30年3月、オーストリア）

目的：空間計量経済モデルに関する研究

- ・南知恵子教授（平成28年9月、イギリス）

目的：デジタル・マーケティングとCRM(customer relationship

management)との統合に関する研究

○法学研究科 (3,900 千円)

- ・砂原庸介准教授 (平成 28 年 8 月～平成 29 年 8 月、カナダ)  
目的：グローバルゼーションと都市ガバナンスの再編成
- ・八田卓也教授 (平成 28 年 9 月～平成 28 年 10 月、ドイツ)  
目的：消費者多額損害の回復を図る集団訴訟の比較法的研究

○国際協力研究科 (1,834 千円)

- ・松並 潤教授 (平成 29 年 1 月、インドネシア)  
目的：インドネシアにおける経済発展および民主化の関する同国学識者の見解
- ・柴田明穂教授 (平成 28 年 11 月～平成 29 年 2 月、南極)  
目的：現場主義の南極条約体制研究：科学と国際法のインターフェイス
- ・島村靖治准教授 (平成 28 年 7 月～平成 28 年 8 月、ベトナム)  
目的：持続可能なコミュニティ開発－ベトナムにおける豚マイクロクレジットの貧困削減効果
- ・島村靖治准教授 (平成 28 年 8 月～平成 28 年 9 月、フィリピン)  
目的：マイクロファイナンス (MF) の脆弱性緩和効果

○経済経営研究所 (3,000 千円)

- ・柴本昌彦准教授 (平成 29 年 3 月～平成 29 年 8 月、米国)  
目的：グローバル経済下におけるマクロ経済効果に関する実証分析
- ・バーンポート,ラル教授 (平成 28 年 5 月～平成 28 年 9 月、米国)  
目的：日本企業による海外企業の M&A 及び被買収企業に及ぼす影響についての調査研究
- ・上東貴志教授他 1 名 (平成 28 年 6 月、韓国)  
目的：漢陽大学校経済金融大学・経済研究所  
神戸大学大学院経済学研究科・経済経営研究所  
南洋理工大学経済学部 第 3 回共同研究発表会"

(2) 学会・シンポジウム等開催支援 . . . . . 1,615 千円

○経済学研究科 (1,240 千円)

- ・ 4 大学シンポジウム開催支援  
(神戸大学・中国山東大学・浙江大学及び南開大学)  
期 間 平成 28 年 12 月 8 日～平成 28 年 12 月 11 日  
場 所 浙江大学 (中国)
- ・ 第 4 回国際シンポジウム  
期 間 平成 28 年 10 月 16 日～平成 28 年 10 月 19 日  
場 所 ブリュージュ研究所 (ベルギー)

- ・「International Conference on Trade, Financial Integration and Economic Growth」に関する国際カンファレンス

期 間 平成 29 年 3 月 18 日～平成 29 年 3 月 19 日

場 所 ワシントン大学（米国）

○経営学研究科 (375 千円)

- ・若手ファカルティディベロップメント研究会

期 間 平成 29 年 2 月 23 日～平成 29 年 2 月 24 日

場 所 下関市立大学

**1 - 2 学術成果の公開** . . . . . **1,330 千円**

(1) 学術研究成果刊行支援 . . . . . 1,180 千円

○経営学研究科 (130 千円)

- ・松嶋 登 著 「計算と経営実践:経営学と会計学の邂逅」 有斐閣

○国際協力研究科 (1,050 千円)

- ・小川啓一 著 「Education Finance and Administration: Comparative Perspectives」 Sense Publisher

- ・西谷真規子著 「国際規範の複合的発展ダイナミクス」 ミネルヴァ書房

(2) 海外学術雑誌投稿支援 . . . . . 150 千円

○経営学研究科 (150 千円)

- ・中村絵理准教授

「鉄道事業系持株会社におけるグループ内コミュニケーションが子会社ガバナンスに果たす役割についてのケーススタディ」

- ・原田 勉教授

「Micro-foundation of new Keynesian Phillips curve : Schumpeterian approach」

**2 教育の充実・学術基盤整備助成事業** **17,723 千円**

**2 - 1 教育等の充実** . . . . . **17,723 千円**

(1) 社会科学特別奨励賞（学部） . . . . . 5,460 千円

経済学部・経営学部・法学部の学部学生（2年生～4年生）の成績最優秀者への奨学金支給

(2) 社会科学特別奨励賞（大学院） . . . . . 4,028 千円

経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生の海外研究活動支援

(3) 相互履修科目開講支援 . . . . . 1,106 千円

他学部学生向け増設専門講義科目

経済学部：エッセンシャル・マイクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学

経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

法学部：エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

- (4) 久研究奨学基金による学生の海外研究旅費支給（4名）・・・・・・・・ 957 千円
- (5) 凌霜研究奨学基金による学生への支援（15件）・・・・・・・・ 500 千円
- (6) 学部学生に対する支援・・・・・・・・ 2,160 千円
  - ・経済学部教育プログラム経費
  - ・法学部教育プログラム経費
  - ・学部共通学生海外派遣経費（神戸グローバルチャレンジプログラム）
  - ・学部共通講義教材経費（凌霜会・六甲台後援会寄附講義）
- (7) 大学院学生に対する支援・・・・・・・・ 3,512 千円
  - ・経済学研究科教育プログラム経費
  - ・経営学研究科海外派遣経費
  - ・法学研究科教育プログラム経費
  - ・法学研究科エクスターンシップ実施経費

**3 学術研究助成事業** **6,500 千円**

- (1) 研究プロジェクト支援・・・・・・・・ 4,000 千円

○経済学研究科

- ・羽森茂之教授

研究課題：市場経済の持続的成長可能性に関する研究

：アジア諸国を中心として

- ・梶谷 懐教授

研究課題：中国の都市化と産業集積に関する実証的研究

：空間的アプローチ

○法学研究科

- ・飯田文雄教授

研究課題：グローバル・シティーの成熟と「新しい公共空間」の  
再編成に関する国際比較研究

- (2) 社会システムイノベーションセンター（社会科学系研究分野）支援・・・ 2,000 千円

- ・ユニット活動支援費

- (3) 襄山研究奨学基金による学術研究への支援（1件）・・・・・・・・ 500 千円

**4 学術交流施設維持管理事業** **8,856 千円**

- (1) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持・管理・・・・・・・・ 8,856 千円

**5 事業費付帯経費** **9,902 千円**